



森づくりサポーターニュース

令和2年(2020年)6月25日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@morigukuri.info URL http://www.morigukuri.info

森の散策コースと見どころ紹介(1)

令和2年は大変な年になりました。国による新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令、解除と続き、滋賀県では、6月1日から必要な対策を続けながら諸施設を再開しました。

びわこ地球市民の森では、早々に今年度の「びわこ地球市民の森のつどい」の開催を断念しました。4、5月の本公園を含む県営都市公園の駐車場一斉閉鎖（遊具使用禁止を含む）では、センター活動や企業のCSR活動が中止になり、サポーターと企業の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

その間も、園内の朝夕の散歩やボール遊び等の利用は許されていましたが、初夏を迎えて咲き乱れていた春の花達も散り、新たな装いに変わろうとしています。今年のテーマは標記のように決まりました。第1回は初夏～夏の見どころを紹介しましょう。

萌黄色で初々しかった木々の色もようやく落ち着いた緑色になり、森の中の散策は春に続いて気持ちの良いものです。エゴノキはつりがね状の白花を、ガマズミは受け皿のように上に向かって白い花を、センダンは淡い藤色の花を付けました。薄紅色のノリウツギや紅白のハコネウツギ、白色のウツギ（ウノハナ）とウツギの仲間も次々と咲いています。

白色から紅色に変化する
ハコネウツギ

森づくりセンターからの北コース（陸橋からふれあいゾーンへの直線コース）では、陸橋の手前で美崎地区の第1なぎさ公園もびっくりのハマヒルガオが群生し、陸橋を渡ると、これからノカンゾウ、ヤブカンゾウ、コオニユリ達が橙色の花をつけ始めます。そして、園路沿いには一面にカワラナデシコの淡いピンクの色が広がります。これは秋の七草の一つですが、他にもハギや尾花（ススキ）、クズに加えてフジバカマも薄紅紫色の花を咲かせます。残念ながらオミナエシとキキョウがありませんので、また植えたいと思っています。



ハマヒルガオの群生



ノカンゾウ（一重）の花



ヤブカンゾウ（八重）の花



カワラナデシコの群生

紅紫色の蝶形花をつける
ヤマハギ（ハギ）

ウバユリの花（竹林の中）

ふるさとゾーンの竹林の中では、7月になるとウバユリが白い花を咲かせます。ウバユリを見るためには竹林に分け入りますが、ご希望がありましたらご案内をさせていただきます。

「森づくりサポーター」新しい活動団体の紹介!

月一活動のグループが、2団体増え16団体となりました。

令和元年10月よりレイカディア大学草津校園芸学科40期生の「花の40」(17名)の皆さんと、また令和2年4月よりレイカディア大学草津校健康づくり学科40期生の「森の健康40」(14名)の皆さん、森づくり活動に参加されています。

楽しみながら、無理なく参加してください。

「花の40」の皆さん



「森の健康40」の皆さん



所長から公園の説明



公園内を見学



担当地で枝切り・間伐



森の手入れ(育樹活動)とあわせて、一般来園者が森と関わるような仕掛けつくりもしていきたいと考えています。いろいろなご協力・ご提案をよろしくお願ひします。

令和2年度びわこ地球市民の森・森づくり講座

県営都市公園「びわこ地球市民の森」では、『森を学ぶ』、『森を調べる』そして『森で楽しむ』ことを目的とした「森づくり講座」を開催します。この講座で身近な自然と森づくり活動について学び、体験して、森の育成や環境のために自分ができることを見つけましょう。

皆様のご参加をお待ちしています。

1 会 場 びわこ地球市民の森「森づくりセンター」
〒524-0102 守山市水保町2727

2 開 設 日 時 令和2年9月～3年3月の原則として毎第3土曜日 午前9時から12時まで

3 講座の主な内容 (講師等の都合で講座内容の変更がある場合があります。)

開講日	講座の内容	開講日	講座の内容
(1) 令和2年 9月 26日(土)	開講式 (講話) 森づくりの目的と今までの経過、 そして今後の維持・管理の進め方 (観察) 9月の自然観察と園内の案内	(5) 令和3年 1月 23日(土)	(講話) びわこ地球市民の森を ビオトープとして再生しよう (講話と実習) キノコの生活の特徴と シイタケの菌打ち
(2) 10月 17日(土)	(講話) 地球規模の環境問題の現状と滋賀 県の環境政策の方向性について (調査) 植栽地の管理と森の土壤	(6) 2月 20日(土)	(講話) 生物多様性危機の現状と 森の外来生物について (講話と観察) 生きものの冬越しを観察する
(3) 11月 21日(土)	(講話) 森の植樹・河畔林と、巧妙な植物の 繁殖方法や種子の広がり方を学ぶ (観察) 秋の自然観察(いろいろな種子を 観察し、その広がり方を調べる)	(7) 3月 20日(土)	(講話) 地球市民として 「森づくり」に参加しよう (グループ討議) これからの森の 利・活用について考える 閉講式:修了証の授与
(4) 12月 19日(土)	(講話) 森のしづみとドングリをつける樹 木の特徴 (実習) 間伐材やドングリ、落ち葉等でク ラフトを楽しむ		
備考	◎ 森づくりセンター活動(年4回)では、主に植樹地の間伐、枝打ち、つる切り作業等をします。 実施日は、次のとおりです。①第1回:5月24日(日)(中止)、②第2回:7月25日(土)、③ 第3回:10月10日(土)、④第4回:3年3月6日(土)(第3回・第4回は、自由参加です。)(時間:9時30分～12時30分)		

(募集人員、受講料、申し込み方法等については、「森づくりセンター」までお問い合わせください。)

過去の森づくり講座の様子



秋の自然観察



クラフトづくり



森の調査



冬の自然観察



シイタケ菌打ち



浜ではないけど「ハマヒルガオ」

守山では、今浜町美崎のハマヒルガオ群生地が有名ですが、ここ「びわこ地球市民の森」にも、三か所の群落があり、5~6月にピンクの花を咲かせます。乾燥に強く、栄養が乏しい砂地でよく成長します。



野洲川の三角州が徐々に発達した歴史を想像しますと、野洲川南流の跡地であるこの公園も、かつて湖岸だった時代があり、その頃の埋没種子が公園造成で地表に現れ、芽を出し株を広げたとも考えられます。

このニュースが届くころには花期が終わっているかもしれません、公園の見どころのひとつとして草地の管理をしていきます。

お知らせ

第2回森づくりサポーター活動のご案内

暑い時期ですが、みなさんのお越しをお待ちしています。

開催期日: 令和2年7月25日(土)

開催場所: びわこ地球市民の森(里の森ゾーン)

活動内容: 植栽地の育樹活動と自然教室など



*新型コロナウイルスの影響で、活動内容を変更したり中止になる場合がありますのでご了承ください。

森づくりセンター組織体制

今年度は、シダックス大新東ヒューマンサービス(株)が指定管理者となり2年目を迎えます。森づくりセンターでは、引き続き下記の職員により森の運営を行ってまいりますのでご紹介します。
1年間どうぞよろしくお願いします。

江見和綽(よしひろ) 所長、三溝(さみぞ) 勝彦副所長(事務担当)、橋本智副所長(技術担当)

平塚英史企画員、湯本悠樹業務員、吉川みどり事務員、沖崎和子事務員、桑森信行指導員、田上知指導員、山本俊一調査員

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、毎年5月に開催しています最大の行事「森のつどい」が中止となり、また森づくり活動も休止が続くなど、サポーターの皆さんには大変ご迷惑をおかけしてきました。

本号がお手元に届く頃には、本来の活気ある森の姿に戻っていることを願っています。

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100~200m
植樹面積	80,808 m ²
植樹期間	H13~H25
植樹活動参加者数	44,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(R1)	232,135人
森づくり活動参加者数(R1)	8,036人
うち育樹活動参加者数(R1)	3,078人